

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	毎年消防署員立会いで避難訓練を実施してきたが、今年度はターミナル期の入居者や持病が悪化している入居者、体調不良者が続いている、実施出来ていない。また、非常時の持ち出し品は準備してあるが、定期点検を行っていない。	避難訓練の実施と消防署員からの指導を仰ぎ、非常時持ち出し品の使用期限及び不足品の点検を行い、職員1人ひとりが防災への意識を高めていく。	消防署員立会いで避難訓練は4月に行い、その後意見交換を行う。 備蓄品点検は5月、普通救命講習を7月に行う。	6ヶ月
2	36	1人ひとりの人格を尊重しながら丁寧な言葉掛けは大切にしているが、重度化・ターミナル期対応により、以前に比べて1人ひとりの思いをゆっくりと傾聴する事が出来ていない。	日々の暮らしの中で、1人ひとりの人格を尊重しながら、個々のペースにあわせた支援を行っていく。	入居者から思いや願いを聞き取り、個別ケアに取り組んでいく。 まずは、見学場所の希望を話してくれた入居者の外出を、暖かくなったら実施する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。